



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 25 年 12 月～平成 26 年 1 月
3. 出張目的 意思決定システム自動化システム完成に向けた協議、プログラム開発の
 促進、及び乾期作の実施とプロジェクトサイト農家聞き取り：A

4. 成果の概要

今回の出張では、既に開始している気象—作物モデルの自動化作業に必要な各種プログラムの開発作業を行った。また、ラオス版意思決定支援システムの作動に向け、圃場試験による作物データおよび補正済み季節予報データによるデータベースの構築作業を進めた。更に、**Nutrient Manager** とのインターフェースのための開発グループと協議を進め、意思決定システムの施肥アドバイザーのためのインターフェースに関する作業に取り掛かった。一方、フィリピン及びインドネシアでの乾期作試験準備を行うとともに、2013 年雨期の作付け収穫状況について近隣農家への聞き取りを行った。